

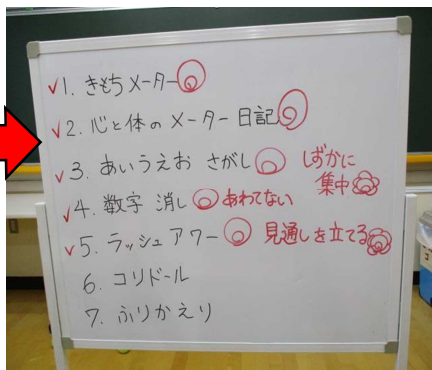
特別支援教室サンサンにおける授業（巡回指導）の紹介

特別支援教室は指導対象となるお子さんにとって、「自分の特性を知り、苦手意識があることも乗り越えていくスキルを高めるところ」であり、「コミュニケーションの力を高めて、自分や相手のことを知り、よさを認め合えるようになるところ」です。一人ひとりのお子さんの発達状況に合わせて、丁寧に指導を行っております。

今回は、一時間の授業の流れを教材の写真とともに御紹介します。

ホワイトボードを活用し、スケジュール提示を行うことで、子どもは見通しをもって主体的に取り組めます。

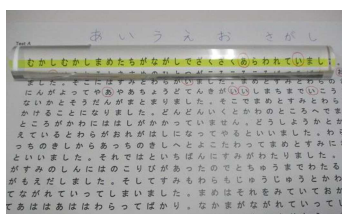
文字やマークを用いて、何ができたかを明確にすることで、子どもは達成感をもちながら安心して学習できます。



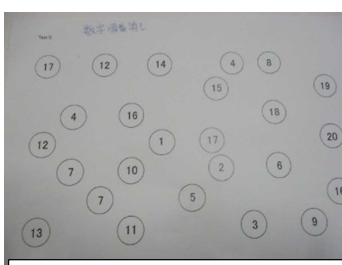
きもちメーター



ころとからだのメーター日記



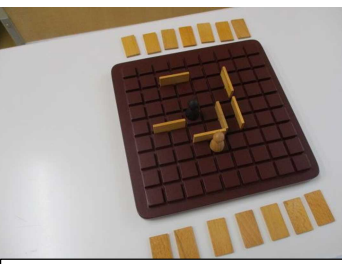
あいうえおさがし



数字消し



ラッシュアワー



コリドール

ゲーム教具を使用した体験的な学びの中で、子どもは自分自身の課題に向き合います。

例えば、勝ち負け等の不本意な結果に対して気持ちや行動を調整すること、次の展開を予想するプログラミング的思考を身に付けること、『想定内』を増やしてパニックを未然に防ぐこと、自分の言動が相手に与える影響を知ること等、一人ひとりの学びが実現するよう、教員が意図的に関わり方を工夫して指導しています。

中野区第3ブロック（江古田小・江原小・平和の森小・緑野小・令和小）の特別支援教室の拠点であったかみかだ学級がこの4月に江古田小学校に移転し、「特別支援教室サンサン」として新たに開設されました。各学校には、週2日程度巡回指導教員が訪問し、指導を行っています。